



い会を持つことができた。劇あそびの筋を相談してつくったり、それに必要な小道具も協力して準備し、プログラムをかくことも子どもたちみんなでした。共通の目的をもって力を合せるという経験が貴重であったと思う。

この一年間の子どもの経験したことをあげればきりがなが、こうしてふりかえってみて、幼稚園の場合、いろいろな経験全部が社会の領域に関係があり、むすびつくといってもよいくらいである。毎日毎日ができるだけ、子どもたちの発達段階を考え、個人やそのクラスにあうような指導に努め、有意義に過すことが大切だと認識を深めた次第である。

幼児の教育 第六十二巻 第六号

六月号 © 定価六〇円

昭和三十八年五月二十五日 印刷

昭和三十八年六月一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご講読についてのご注文は発売所「フレーベル館」にお願いいたします。